

代表質問

会派・質問者・項目

志政会 高木 新仁

①小中一貫教育の成果②競艇事業の取り組み ほか

明友会 高木 康光

①予算編成と財政見直し②職員の定員管理 ほか

市民クラブ 松浦 正武

①学校図書館の蔵書整備②幼稚園の職員配置 ほか

日本共産党 尾崎淳一郎

①社会保障と税の一体改革②子育て支援政策 ほか

市民の声 片山 圭之

①学校給食と食育の大切さ②スポーツでのPR ほか

公明党 内田 俊英

①自転車関連の諸施策 ほか

志政会

小中一貫教育

これまでの成果は

◎高木議員 小中一貫教育は本市教育システムの根幹となるも

のだが、23年度の取り組みと成果を聞きたい。また、24年度に取組む家庭や地域との連携は、どういった内容か。

▲教育長 小、中学校と保護者

や地域が一体となり教育を進めるために、6学校群に設置している連携協議会で地域の実情に合わせた特色ある取り組みをしており、保護者や地域の方から評価を得ている。また、小学6年生や教職員を対象としたアンケート結果からも一定の成果があったと考えている。24年度は、連携協議会の活動を発表する場を設け、横の連携を図り、保護者や地域の方にも参加してもらい、小中一貫教育への理解を高めてもらう。

◎高木議員 競艇場の新スタンドが今夏完成するが、顧客確保の取り組みについて考え方を示してほしい。

▲競艇事業部長 新スタンドは従来のイメージを払拭し、カフェテラスを整備するなど若い人や女性が親しみやすい空間をつくっていく。また、電話投票だけでなく、本場での購入に応じたサービスを提供し、ファンを育てていく。

▲競艇事業部長 新スタンドは

従来のイメージを払拭し、カフェテラスを整備するなど若い人や女性が親しみやすい空間をつくっていく。また、電話投票だけでなく、本場での購入に応じたサービスを提供し、ファンを育てていく。

明友会

新年度予算

何が重点分野か

◎高木議員 新年度予算は総額

400億円と昨年度より10億円少ないが、削減した分野と重点項目とした分野は何か。これで、安全安心のまちづくりは計画通り進むのか。

▲企画財政部長 退職者数が半減する退職手当を中心に人件費

の減額や、国の制度改正による子どものための手当給付費の減額が主なものである。また、後期基本計画に掲げた3つの重点課題に重点配分している。安全安心のまちづくりは、学校教育施設など公共施設の耐震補強や改築を計画的に進めている。今後合併特例債の活用だけでなく、より有効な財源手当ても検討しながら着実な事業実施に努める。

◎高木議員 職員の定員適正化

計画の目標は達成したが、現在の職員の適正配置をどのように考えているのか。

▲総務部長 ほぼ所期の目標は達成したが、今後は退職者不補

充といった一律的な職員数の削減ではなく、市民サービスや県からの権限移譲なども考慮し、本市の行政運営に合った定員管理を進めていく必要があると認識している。

市民クラブ

学校図書館の蔵書

整備の実態は

◎松浦議員 学校図書館の蔵書

整備基準が文科省で定められているが、市内の学校の実態はどうなっているか。蔵書の中身に問題はなにか。

▲教育長 学校図書館の図書標準達成率は、学校間ではばらつきはあるが、学校全体では21年度末で120%となっている。子どもにとって図書館は知の宝庫であり、そういった面に立脚した蔵書の選定を進めていく。

◎松浦議員 幼稚園の教職員の

配置基準では、少なくとも各クラスに教諭を1人置かなければならないとされているが、配置状況に問題はないか。また、現場の実態をどう考えているか。

▲教育長 特別な事情がある場合は、クラス数の3分の1の範

困で講師をもって代えることができるようになっており、本市の状況もその範囲内で講師を配置している。ただし、3分の1の条項はやむを得ない場合に認められたものと理解しており、この条項にとらわれないよう適正な幼稚園教諭の配置を目指していきたい。

日本共産党

社会保障の負担増
市長の見解を問う

◎尾崎議員 国は社会保障と税の一体改革への協力を自治体に求めている。福祉の増進を使命とする自治体に対し、社会保障を後退させながら、さらに消費税増税を市民に押し付ける協力を求めるなどともでないことだが、市長の見解を聞きたい。

▲市長 急速に高齢化が進む状況に早急に対応するため、財源確保の手法として消費税増税により幅広い世代への負担を求めざるべきだと考えている。ただしその場合、増税により捻出した財源を確実に社会保障費に充てること、また広く国民の理解を得ることなどが前提となる。

◎尾崎議員 子育て家庭が置かれていく厳しい情勢を考えると、子育て施策の予算を増やさなければ、今の社会に求められる子育て支援は十分にできない。予算を増やす考えはあるのか。

▲健康福祉部長 子育て支援全体への予算の重点配分の必要性は認識しているが、予算配分は市全体の行財政運営の観点から検討しなければならない。子育て支援を充実させるためにも、限られた財源を有効活用し、効果的な施策を展開していく。

市民の声

食育の取り組み
これまでの成果は

◎片山議員 人間として食から学ぶことは数多くあり、食育は丸亀教育の第一に位置付けられている。これまで食育をどのように進め、成果を上げてきたのか聞きたい。

▲教育長 子どもたちが健全な食生活を実践できるようにするには、さまざまな経験が大切になってくる。幼稚園や学校では地域での体験活動を取り入れることなどにより、学校給食を

通した豊かな心と健康な体づくりを目指している。また、学校給食に地場産物を活用したり、郷土食を提供したりすることで、地域の文化や伝統に対する理解や関心を深められると考えている。

◎片山議員 丸亀高等女学校の生徒がサッカーをしている大正時代の写真が見つかり話題になっている。そこで、なでしこジャパンの発祥は丸亀だということを中心にPRするとともに、なでしこジャパンを丸亀に招待する計画はないのか。

▲生活環境部長 女子サッカー発祥の地とも言える丸亀で女子サッカーリーグの公式試合の開催に向け調整をしてきたが、都合がつかず断念した経緯がある。今後も女子サッカー発祥の地として全国にアピールできるように各方面の協力を得ながら取り組んでいきたい。

公明党

自転車に関する
市の施策について

◎内田議員 交通事故の約2割が自転車事故だが、その安全

対策は遅れている。そうした中、環境に優しく健康に良い移動ツールとして自転車が見直されているが、自転車関連の諸施策に関して聞きたい。①健康や環境の観点から自転車利用を推奨する施策はあるのか②職員のエコ通勤など市役所として内外に姿勢と意欲を示す考えは③交通ルールにはわかりにくいものもあるが、明快な交通安全指導への取り組みについて④JR丸亀駅での自転車の盗難が県下ワーストだと報じられていたが、対策をとる考えは。

▲生活環境部長 ①具体的な施策はないが、市の公用自転車に距離メーターを設置し、公用自動車と比較した二酸化炭素排出削減量を算出し、公表することで、職員の環境保全意識を高めるよう努めている②関係課と調整し、職員が自主的に自転車通勤に取り組むような検討をしたい③子どもからお年寄りまで幅広い層を対象に、自転車シミュレーターを使った交通安全教室を行うなど、わかりやすい啓発に取り組みたい④駅周辺や駐輪場に防犯カメラを設置し、盗難防止策を強化したい。

議員が市の考えを問う

総括質疑

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

小橋 清信

- ① こんびら湊―丸亀街道ゾーン整備
- ② 中津万象園の観光振興
- ③ うちわの港ミュージアムの跡地利用に「道の駅」を
- ④ 企業誘致と中小企業振興
- ⑤ スポーツ振興ビジョン
- ⑥ 中学校武道の必修化
- ⑦ 耕作放棄地解消に向けた「丸亀市耕作放棄地対策協議会」の体制

横川 重行

- ① 中学校の新学習指導要領
- ② 学校給食
- ③ 観光事業
- ④ 防災・危機管理体制の充実

三宅 真弓

- ① 上下水道
- ② 観光行政

浜西 和夫

- ① 東北復興支援「がれき処理」
- ② 中心市街地活性化「商店街」
- ③ 市営住宅整備費
- ④ 離島振興法

藤田 伸一

- ① シルバー人材センターへの支援
- ② 雇用問題（雇用の確保と格差是正）

長友 安広

- ① 「丸亀の文化財」冊子
- ② いじめ問題
- ③ セカンドブック事業と電子書籍貸し出しサービス

松永 恭二

- ① 世代間格差と行財政改革
- ② 保育サービス
- ③ 水難事故における消防本部の対応
- ④ 組織機構改正の検証と対応
- ⑤ 福祉事業団

小野 健一

- ① 瀬戸内国際芸術祭
- ② 職員組合との会議や交渉の公開
- ③ 道路行政
- ④ 見やすくなりわかりやすい広報媒体
- ⑤ 学校教育

加藤 正員

- ① 「空き家」対策
- ② 綾歌森林公園
- ③ イノシシ対策

吉本 一幸

- ① 婦人会や老人会、各種団体への対応
- ② コミュニティ行政
- ③ 緑のカーテン事業

国方 功夫

- ① 犬猫避妊予算
- ② 健やかに子どもが育つ元気都市づくり
- ③ 消防通信指令
- ④ 労災病院西側の市道土器南北線
- ⑤ 競艇場の工事現場での事故と設計変更

福部 正人

- ① 広告事業
- ② 電気自動車の導入
- ③ 三世同居の推進
- ④ 在宅介護者への支援
- ⑤ 健康増進事業における本市独自の取り組み
- ⑥ 丸亀城へのアクセス
- ⑦ AEDマップ
- ⑧ 地元企業の活用等を総合評価方式の評価項目として設定すること

中谷真裕美

- ① 定住自立圏形成協定の締結
- ② 遺児年金廃止は見直しを
- ③ 高齢者世帯への配食サービス
- ④ 市内幼稚園の諸課題

倉本 清一

- ① 新しおや保育所の諸問題
- ②

- 丸亀市の契約及び入札方式
- ③ 丸亀市教育研究所
- ④ 総合運動公園の今後の計画

耕作放棄地解消

市の取り組みは

☐ 小橋議員 丸亀市耕作放棄地対策協議会の中に農地運用を取り扱う委員会を設け、耕作放棄地がある集落に働きかけ、農地の集積管理、トラクターなどの機械設備によって、レンゲなどの景観作物や大豆を栽培するなど、集落における農業法人化の推進が急務と思うが、どうか。

▲ 産業文化部長 現在、地域内の集落営農組織の法人化に向けた取り組みを、丸亀市耕作放棄地対策協議会の構成団体である県中讃農業改良普及センターを中心に推進している。その中で、集落での合意形成を図るため、研修、説明会などを実施し、地域農業の中心経営体として農地の集積及び維持管理先の受け皿になるよう、引き続き法人設立に向けた取り組みを推進していく。丸亀市耕作放棄地対策協

総括質疑

議会としては、こうした耕作放棄地の再生利用に向けた再生作業や農業用排水施設の整備等に対する助成制度について一層周知し、推進していくことにより、耕作放棄地の解消を目指していきたい。



旧丸亀の幼稚園 給食実施はいつか

◎ 横川議員 旧丸亀市内の幼稚園給食については、各幼稚園の施設整備を810万円の工事費請負で予算化しているが、具体的な整備計画はどうなっているのか。また、幼稚園給食の実施時期はいつからか。

▲ 教育部長 現在のところ旧市内の幼稚園では、給食配送車の園敷地内の進入路や通行の安全確保、給食を受け入れるための施設整備がまだ整っていない。来年度の予算案に計上している幼稚園の工事費810万円の一部で、城坤幼稚園と城東幼稚園の改修を行うなど、でき

るところから幼稚園の給食受け入れ態勢の整備を図っていきたい。また、幼稚園施設の整備については、来年度に城辰幼稚園の改築工事、那家幼稚園の改築設計、さらには平成25年度从那家幼稚園の改築工事を予定しており、給食の受け入れ態勢の整備を含めた施設の改築を着実に進めていく予定である。幼稚園給食の開始年度については、現在のところ那家幼稚園改築完了後の27年度を想定して準備を進めたい。



下水道処理設備 長寿命化計画

◎ 三宅議員 認可区域内で下水道を計画的に整備し、設備などの延命化と施設の耐震化に取り組むとのことだが、下水道処理設備の長寿命化計画について、次のことを伺いたい。①計画の内容と目的②対象となる施設③事業の進め方と業者の選定④事業期間。

▲ 上下水道部長 ①設備の健全度に関する点検調査を行い、

総括質疑

対象施設の選定、改築、修繕の方法などを検討する。壊れてから対応する事後保全型管理から壊れる前に対策を施す予防型管理に変えることで、長期的なトータルコストを少なくする②浄化センター、城西・城北・塩屋ポンプ場、塩屋・土器・清水中継ポンプ場の全設備③24、25年度に長寿命化計画を策定し、26年度から工事を実施する。業者選定は、公共工事としての公平性、透明性の観点から検討し、規模、内容に応じ発注する④26年度から30年度の5カ年を第1期の事業期間とし、設備の改築、改修を実施する。また、第1期の実施期間中に、次期の長寿命化計画を策定し、継続して事業を実施したい。

東日本震災がれき 受け入れどうする

◎ 浜西議員 本市の一般廃棄物の処理は、中讃広域行政事務組合のごみ焼却施設と最終処分場の埋め立てで実施しているが、東日本大震災のがれきの受け入れについて検討したのか。また、今後の見通しはどうか。

▲ 市長 中讃広域行政事務組合では、クリントピア丸亀と仲善クリーンセンターでごみを焼却し、焼却灰などを最終処分場エコランド林ヶ谷で埋め立て処理している。事務組合では、施設の処理能力や通常業務への影響などを勘案し、東北地方のがれきの受け入れに向けて地元住民や関係団体との協議を開始したが、津波をかぶった塩分の高いごみの焼却灰が最終処分場に搬入されることで処分場内の塩分濃度が高まるのではないかと、さらには放射線量の高い焼却灰が搬入されるのではないかと理由により、地元住民の不安を払拭できず、現時点では受け入れられていない。今後は、国の措置などによって安全が確保される状況が整えば、事務組合に対して地元関係者との協議を依頼していきたい。



震災で発生したがれき